

# モビリティレポート

25G1065 塩澤匠生

2025 年 6 月 11 日

## 1 はじめに

まず，社会的背景として自転車の単独事故は年 5497 件発生していて，その割合は年々増加しているというものがある [?]. 単独事故の割合は，年々増加しているというものがある．そして，単独事故の原因の内 7 割が転倒事故であるというものがある [?].

### 1.1 社会的背景

こんな感じで文献引用する [1, 2].

### 1.2 問題点

こんな感じで文献引用する [1, 2].

### 1.3 目的

こんな感じで文献引用する [1, 2].

## 2 解決策としての提案手法

必要に合わせて，subsection にわけて図を図 1 や表 1 を引用しつつ説明する．

表 1 表のテンプレート

項目	内容
1	社会的背景・問題点・主張
2	解決策としての提案手法
3	提案手法の実現可能性の評価と妥当性の検証



図1 図のテンプレート.

### 3 提案手法の実現可能性の評価と妥当性の検証

### 4 おわりに

### 参考文献

- [1] 礪川梯次郎, & 信川創. (2023). 脳・神経系における機能創発の解明を目指した数理モデリングとデータ駆動分析—局所神経回路から大域的全脳レベルまで—. 計測と制御, 62(10), 587-592.
- [2] 信川創. "ヒトの認知行動を推定するアイマーカーの脳内メカニズム." 体育の科学, 73.10 (2023): 658-662.